

News Release

平成27年10月30日

## 北九州PCB廃棄物処理施設 協定値を超えるベンゼンの排出について

(概要) 平成27年10月30日に北九州市から通報を受け、北九州市が10月14日にサンプリングした当事業所からの排ガス中に同市との協定に基づく協定値(45mg/Nm<sup>3</sup>)を超えるベンゼン(520mg/Nm<sup>3</sup>)が検出されていることが判明しました。

北九州市によるサンプリングは、当事業所2期施設のPCB無害化液処理後工程から施設外に排出される排ガスについて行われました。その後、当該施設は定期点検のため10月21日より操業を停止しています。

原因については現在調査中ですが、その結果を踏まえて、今後適切に対応してまいります。なお、今回の事象によるPCBの排出は有りません。

### 1. 発生状況

北九州PCB処理事業所では、PCB無害化のため脱塩素化分解を行っています。無害化後の分解液は固液分離処理を行っており、その工程で生じた排ガスは活性炭槽を通して大気に排出しております。

平成27年10月14日(水)13時30分に当該工程の大気排出口で北九州市によるベンゼンの行政測定のためのサンプリングが行われました。当日のサンプリング時の操業状況は、PCB無害化処理後の分解液の固液分離処理運転中で、液体は処理済油受槽に送液し、固体は固形物充填室内コンテナに充填中でした。

この測定結果について、本日北九州市より通報を受け、排出口より協定値を超えるベンゼン(520mg/Nm<sup>3</sup>)が検出されていることが判明しました。

当該工程は定期点検のため10月21日から操業停止しており、その後のベンゼン排出は有りません。

### 2. 発生原因

北九州市の通報を受け、原因調査中です。

### 3. 今後の対応

北九州市からは、原因究明と再発防止に関し報告を求めるとのご指示をいただいております。また、その内容をご了解いただき、再発防止の効果を確認していただくまでは当該プロセスの操業を停止するようご指示もいただいております。

## <連絡先>

中間貯蔵・環境安全事業株式会社北九州PCB処理事業所

所長 氏本 泰弘 (TEL 093 - 752 - 1113)

安全対策課長 野村 義夫 ( 同上 )

総務課長 土田 哲司 ( 同上 )